

「戦争と平和を考えよう」

資料名		著者名	出版者	請求記号	
1		祈りの碑	長島 雄一 // 著	歴史春秋出版	092.8/ハ
2		ケネディを沈めた男	星 亮一 // 著	潮書房光人社	092.8/ハ
3		米英軍記録が語る福島空襲	紺野 滋 // 著	歴史春秋出版	092/コ
4		遙かなる日々	伊藤 剛 // 著	伊藤剛	099.6/イ
5		吾が青春に悔いあり	菅野 孝明 / 文・イラスト	ふくしま平和のための戦争展実行委員会	099.6/カ
6		集団服毒自決生還への手記	岸 チヨ // 著	新風書房	099.6/キ
7		戦場から会津へ	高橋 恵子 // 著	歴史春秋出版	099.6/タ
8		祖国よ!	福島 泰樹 // 著	幻戯書房	099.6/ヲ
9		わたしの八月十五日	わたしの八月十五日編集委員会 // 編	歴史春秋出版	099.6/ワ
10	上	危機と人類	ジャレド ダイアモンド // 著	日本経済新聞出版社	209.5/ダ /1
11	下	危機と人類	ジャレド ダイアモンド // 著	日本経済新聞出版社	209.5/ダ /2
12		杉原千畝とコルベ神父	早乙女 勝元 // 著	新日本出版社	209.7/サ
13	上	裏切られた自由	ハーバート フーバー // 著	草思社	209.7/フ/1
14	下	裏切られた自由	ハーバート フーバー // 著	草思社	209.7/フ/2
15		地図とグラフで見る第2次世界大戦	ヴァンサン ベルナル // 著	原書房	209.7/ハ
16		沈黙の子どもたち	山崎 雅弘 // 著	晶文社	209.7/ヤ
17		第九 永遠なり	徳島新聞編集局 // 編	徳島新聞社	210.6/ダ
18		近現代史からの警告	保阪 正康 // 著	講談社	210.6/ホ
19		陰謀の日本近現代史	保阪 正康 // 著	朝日新聞出版	210.6/ホ
20		日本の戦争:歴史認識と戦争責任	山田 朗 // 著	新日本出版社	210.6/ヤ
21	2	日本の戦争	山田 朗 // 著	新日本出版社	210.6/ヤ/2
22	3	日本の戦争	山田 朗 // 著	新日本出版社	210.6/ヤ/3
23		風刺画が描いたJAPAN	若林 悠 // 編著	国書刊行会	210.6/ワ
24		きみの大逆転	青山 繁晴 // 著	ワニ・プラス	210.7/ア
25		「名将」「愚将」大逆転の太平洋戦史	新井 喜美夫 // 著	講談社	210.7/ア
26		特攻隊の<故郷>	伊藤 純郎 // 著	吉川弘文館	210.7/イ
27		戦艦大和講義	一ノ瀬 俊也 // 著	人文書院	210.7/イ
28		樺太地上戦	NHKスペシャル取材班 // 著	KADOKAWA	210.7/カ
29		731部隊と戦後日本	加藤 哲郎 // 著	花伝社	210.7/カ
30		ガダルカナル悲劇の指揮官	NHKスペシャル取材班 // 著	NHK出版	210.7/ガ
31		消えゆく太平洋戦争の戦跡	「消えゆく太平洋戦争の戦跡」編集委員会 // 編	山川出版社	210.7/キ
32		黒島の女たち	城戸 久枝 // 著	文藝春秋	210.7/キ
33		米軍の写真偵察と日本空襲	工藤洋三 // 著	工藤 洋三	210.7/ク
34		日本の都市を焼き尽くせ!	工藤 洋三 // 著	工藤 洋三	210.7/ク

資料名		著者名	出版者	請求記号
35 原爆投下部隊		工藤 洋三 // 著	工藤 洋三	210.7/ク
36 空中写真に遺された昭和の日本	東日本編	日本地図センター // 編集	創元社	210.7/ク
37 アメリカ海軍艦載機の日本空襲		工藤 洋三 // 著	工藤 洋三	210.7/ク
38 女たちのシベリア抑留		小柳 ちひろ // 著	文藝春秋	210.7/コ
39 ヒロシマの空に開いた落下傘70年目の真実		河内 朗 // 著	言視舎	210.7/コ
40 朝鮮半島で迎えた敗戦		城内 康伸 // 著	大月書店	210.7/シ
41 シベリア抑留関係資料集成		富田 武 // 編	みすず書房	210.7/シ
42 戦争と看護婦		川嶋 みどり // 著	国書刊行会	210.7/セ
43 戦時下のくらし		小泉 和子 // 監修	平凡社	210.7/セ
44 戦後の地層		東京新聞「戦後の地層」取材班 // 編	現代思潮新社	210.7/セ
45 千の証言		毎日新聞「千の証言」取材班 // 著	毎日新聞出版	210.7/セ
46 「日本を解体する」戦争プロパガンダの現在		高橋 史朗 // 著	宝島社	210.7/タ
47 ぼくらの戦争なんだぜ		高橋 源一郎 // 著	朝日新聞出版	210.7/タ
48 朝鮮出身の帳場人が見た慰安婦の真実		崔 吉城 // 著	ハート出版	210.7/チ
49 日ソ戦争1945年8月		富田 武 // [著]	みすず書房	210.7/ト
50 「駅の子」の闘い		中村 光博 // 著	幻冬舎	210.7/ナ
51 占領神話の崩壊		西 鋭夫 // 著	中央公論新社	210.7/ニ
52 AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争		庭田 杏珠 // [編]著	光文社	210.7/ニ
53 靖国神社の緑の隊長		半藤 一利 // [著]	幻冬舎	210.7/ハ
54 日米戦争を策謀したのは誰だ!		林 千勝 // 著	ワック	210.7/ハ
55 戦争というもの		半藤 一利 // 著	PHP研究所	210.7/ハ
56 昭和史		半藤 一利 // 著	平凡社	210.7/ハ
57 昭和という過ち		原田 伊織 // 著	SBクリエイティブ	210.7/ハ
58 B面昭和史		半藤 一利 // 著	平凡社	210.7/ハ
59 「日本スゴイ」のディストピア		早川 タダノリ // 著	青弓社	210.7/ハ
60 戦争と平和		百田 尚樹 // 著	新潮社	210.7/ヒ
61 「玉砕の島」パトリキュールから帰還した父		ゆき恵 ヒアシュ // 著	潮出版社	210.7/ヒ
62 朝鮮戦争を戦った日本人		藤原 和樹 // 著	NHK出版	210.7/フ
63 昭和天国と地獄		邨野 継雄 // 編著	朝日新聞出版	210.7/ム
64 図説日中戦争		森山 康平 // 著	河出書房新社	210.7/ヱ
65 <ヤミ市>文化論		井川 充雄 // 編	ひつじ書房	210.7/ヤ
66 少女たちがみつめた長崎		渡辺 考 // 著	書肆侃侃房	210.7/ワ
67 米軍が見た東京1945秋		佐藤 洋一 // 文 構成	洋泉社	213.6/サ
68 原爆		石井 光太 // 著	集英社	217.6/イ
69 戦後ヒロシマの記録と記憶	上	小倉 馨 // [著]	名古屋大学出版会	217.6/オ/1
70 戦後ヒロシマの記録と記憶	下	小倉 馨 // [著]	名古屋大学出版会	217.6/オ/2

資料名		著者名	出版者	請求記号
71 ヒロシマの空白		中国新聞社報道センター・ヒロシマ平和メディアセンター // 著	中国新聞社	217.6/ヒ
72 日本にとって沖縄とは何か		新崎 盛暉 // 著	岩波書店	219.9/ア
73 沖縄戦の発掘 沖縄陸軍病院南風原壕群		池田 榮史 // 著	新泉社	219.9/イ
74 沖縄戦全記録		NHKスペシャル取材班 // 著	新日本出版社	219.9/オ
75 沖縄戦を知る事典		吉浜 忍 // 編	吉川弘文館	219.9/オ
76 沖縄「戦争マラリア」		大矢 英代 // 著	あけび書房	219.9/オ
77 写真記録沖縄戦		大田 昌秀 // 編著	高文研	219.9/シ
78 証言沖縄スパイ戦史		三上 智恵 // 著	集英社	219.9/ミ
79 ドキュメント<アメリカ世>の沖縄		宮城 修 // 著	岩波書店	219.9/ミ
80 沖縄の戦争遺跡		吉浜 忍 // 著	吉川弘文館	219.9/ヨ
81 朝鮮戦争70年		和田 春樹 // 著	かもがわ出版	220.7/チ
82 ナチ 本の略奪		アンデシュ リデル // 著	国書刊行会	234.0/リ
83 アメリカの原爆神話と情報操作		井上 泰浩 // 著	朝日新聞出版	253.0/イ
84 戦争の歌がきこえる		佐藤 由美子 // 著	柏書房	253.0/サ
85 清六の戦争		伊藤 絵理子 // 著	毎日新聞出版	289.1/イ
86 異端の被爆者		横井 秀信 // 著	新潮社	289.1/コ
87 光に向かって這っていけ		サーロー節子 // 著	岩波書店	289.3/サ
88 イレナの子供たち		ティラー J.マツツエオ // 著	東京創元社	289.3/セ
89 黒い雨に撃たれて	上	パメラ ロトナー サカモト // 著	慶應義塾大学出版会	289.3/ワ/1
90 黒い雨に撃たれて	下	パメラ ロトナー サカモト // 著	慶應義塾大学出版会	289.3/ワ/2
91 ホロコースト最年少生存者たち		レベッカ クリフォード // 著	柏書房	316.8/ク
92 ウクライナ戦争と米中対立 帝国主義に逆襲される世界		峯村 健司 // 著 他	幻冬舎	319.3/ウ
93 世界は広島をどう理解しているか		井上 泰浩 // 編著	中央公論新社	319.3/イ
94 ウクライナ侵略戦争 世界秩序の危機		『世界』編集部 // 編	岩波書店	319.3/ウ
95 ウクライナ侵攻までの3000日 モスクワ特派員が見たロシア		大前 仁 // 著	毎日新聞出版	319.3/オ
96 ウクライナ戦争をどう終わらせるか 「和平調停」の限界と可能性		東 大作 // 著	岩波書店	319.3/ヒ
97 ウクライナ侵攻はなぜ起きたのか 国際政治学の視点から		宮脇 昇 // 編著 他	早稲田大学出版部	319.3/ミ
98 核兵器禁止から廃絶へ		川崎 哲 // 著	岩波書店	319.8/カ
99 高校生平和大使にノーベル賞を		「高校生平和大使にノーベル賞を」刊行委員会 // 編	長崎新聞社	319.8/コ
100 核兵器禁止条約は日本を守れるか		佐野 利男 // 著	信山社	319.8/サ
101 ナガサキ		スーザン サザード // 著	みすず書房	319.8/サ
102 戦争と平和を考えるNHKドキュメンタリー		日本平和学会 // 編	法律文化社	319.8/セ
103 The Complete Story of Sadako Sasaki		スー ディシコ // 著	チャールズ・イー・タトル出版	319.8/デ
104 明子のピアノ		中村 真人 // 著	岩波書店	319.8/ナ
105 核のある世界とこれからの考えるガイドブック		中村 桂子 // 著	法律文化社	319.8/ナ

資料名	著者名	出版者	請求記号
106 被爆者からあなたに	日本原水爆被害者団体協議会 // 編	岩波書店	319.8/ヒ
107 「戦争」は許されるのか？ 国際法で読み解く武力行使のルール	稲葉 義泰 // 著	イカロス出版	329/イ
108 戦争をいかに語り継ぐか	水島 久光 // 著	NHK出版	361.4/ミ
109 東京大空襲の戦後史	栗原 俊雄 // 著	岩波書店	369.3/ク
110 遺骨	栗原 俊雄 // 著	岩波書店	369.3/ク
111 原爆死の真実	NHKスペシャル取材班 // 著	岩波書店	369.3/ゲ
112 サハリンを忘れない	後藤 悠樹 // 文 写真	DU BOOKS	369.3/ゴ
113 骨が語る兵士の最期	檜崎 修一郎 // 著	筑摩書房	369.3/チ
114 海外戦没者の戦後史	浜井 和史 // 著	吉川弘文館	369.3/ハ
115 あの戦争さえなかったら 上	藤沼 敏子 // 著	津成書院	369.3/ワ/1
116 あの戦争さえなかったら 下	藤沼 敏子 // 著	津成書院	369.3/ワ/2
117 戦争はいかに終結したか 二度の大戦からベトナム、イラクまで	千々和 泰明 // 著	中央公論新社	391/チ
118 独ソ戦	大木 毅 // 著	岩波書店	391.2/オ
119 空の戦争史	田中 利幸 // 著	講談社	391.2/タ
120 コード・ガールズ	ライザ マンディ // 著	みすず書房	391.6/マ
121 大東亜戦争責任を取って自決した 陸軍将官26人列伝	伊藤 禎 // 著	展望社	396.2/イ
122 三八式歩兵銃	加登川 幸太郎 // 著	筑摩書房	396.2/カ
123 原爆の父オッパンハイマーはなぜ死んだか	西岡 昌紀 // 著	飛鳥新社	559.7/ニ
124 戦禍の記憶	大石 芳野 // 著	クレヴィス	748/オ
125 長崎の証言		JRP日本リアリズム 写真集団長崎支部	748/チ
126 幻のオリンピック	NHKスペシャル取材班 // 著	小学館	780.6/マ
127 戦争と平和 ある観察	中井 久夫 // 著	人文書院	914.6/チ
128 高倉健の想いがつないだ人々の 証言「私の八月十五日」	小田 貴月 // 著	今人舎	916/オ
129 少女たちの戦争	中央公論新社 // 編	中央公論新社	916/シ
130 わが米本土爆撃	藤田 信雄 // 著	毎日ワンス	916/ワ
131 太陽はきっとどこかで輝いている	ミハエル グレンバウム // [著]	新評論	936/グ
132 アウシュヴィッツで君を想う	エディ デ ウインド // 著	早川書房	949.3/ウ
133 アウシュヴィッツ生還者からあなたへ	リリアナ セグレ // 著	岩波書店	976/ヒ
134 アウシュヴィッツの小さな姉妹	タチアナ ブッチ // 著	アストラハウス	976/グ
135 戦争日記 鉛筆1本で描いたウクライナのある 家族の日々	オリガ グレバンニク // 著	河出書房新社	986/グ